公益財団法人８０２０推進財団

令和７年度　歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

１．事 業 名：石巻圏摂食嚥下研究会「食べる輪」

２．申請者名：山本　寿則

３．実施組織：石巻圏摂食嚥下研究会

４．事 業 の 概 要：

石巻圏摂食嚥下研究会「食べる輪」は石巻圏で摂食嚥下に関わるもしくは関心のある方を対象に 2015 年から年に４～５回勉強会を開催してきた。勉強会の開催は、［多職種へ摂食嚥下障害の評価、対応のスキルアップ］［多職種同士の連携づくり］［地域で“食べる”を支える環境づくり］を目的としている。勉強会は年に３～４回開催の「食べる輪」と、年に１回開催の石巻圏摂食嚥下研究会という開催様式をとっている。

本年度は対面で３回の「食べる輪」と１回の石巻圏摂食嚥下研究会を開催した。

５．事 業 の 内 容：

第２５回　石巻圏摂食嚥下研究会「食べる輪」

演題１：実戦で役立つ！嚥下のきほん、食事評価のポイント　講師：佐藤燈子先生（言語聴覚士）

演題２：必見！！のぞいてみよう　ノドの中！　講師：岩淵信先生（歯科医師）

第２６回　石巻圏摂食嚥下研究会「食べる輪」

演題１：誤嚥性肺炎について～発見から予防まで～　講師：末永拓郎先生（医師）

演題２：聞いてみよう　ノドの音　講師：河瀬総一朗先生（歯科医師）

第８回石巻圏摂食嚥下研究会

演題：家族みんなで同じご飯を笑顔で食べよう　講師：塩野崎淳子先生（在宅訪問管理栄養士）

第２７回　石巻圏摂食嚥下研究会「食べる輪」

演題：食べたいのに食べられない？それとも食べたくない？～生ききるために～

講師：大塚明子先生（訪問看護師）

グループディスカッション：SNS で炎上したある施設での「食べる」への対応。

それぞれの職種で意見を出し検討しよう

６．実施後の評価（今後の課題）：

勉強会を開催するにあたり毎回参加者にアンケートを実施しており、その結果を見るとほぼ全員から高評価を頂いている。ただ、流行性感染症前は１００名前後の参加者があったが、その後は４０名前後になってしまっている。また実習やグループディスカッションに対する拒否はあると考察する。多くの摂食嚥下に関わる職種の方々や興味のある方々に参加していただけるよう勉強会企画の際の方針も考えていきたい。

また、「食べる輪」は主に平日の夜に約２時間で開催しているが、日時に関しても参加希望者が参加してもらえるよう色々な形を試していく。開催の周知に関しても、広報はどうしてもコストが関係してしまい難しいが、関係機関との協力をお願いしながら輪を大きくしていきたい。

地域の摂食嚥下障害に対する知識や連携などのベースアップを目的に活動してきたが、今後はより臨床的な課題もテーマに企画をたてていきたい。